

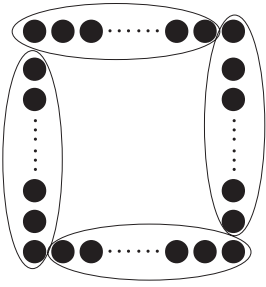
学習状況調査 中学校第2学年 国語 採点基準

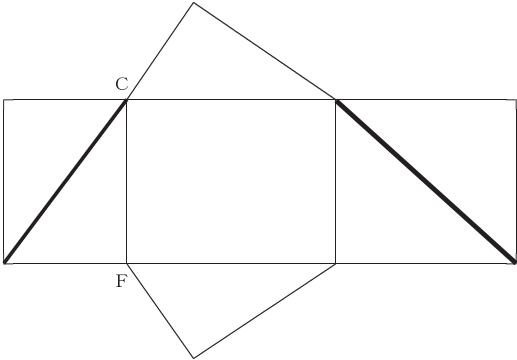
問題番号		正 答 ( 例 )	採 点 上 の 注 意	
1	一	(第) 1 (グループ)	数字以外は不可。漢数字は可。	
	二	お年寄りや子どもを大切にする	ひらがな可。「お年寄り」「子ども」は必須。同意可。	
	三	山口 (さん)	ひらがな可。	
2	①	いて		
	②	非常に	「とても」等同意可	
3	一	ア	ね (って)	
		イ	厳 (し)	
		ウ	神秘	
	二		口	
	三		(例) 鑑賞できるような値打ちのある焼き物を作ること (。)	同義も正答とする。字数の条件を守っていないものは不可。また、文末は「こと」等の体言止めであること。
	四		楊は	
	五		ウ	
	六		自分の生地	
	七		イ	
八		エ		
九		ア		
4	一	ア	ていぎ	
		イ	解放	
		ウ	いっけん	
	二		しかし、今	
	三		エ	
	四		(例) 上に行くとは限らない	「必ず」に呼応する「～ない」があること。同意可。句点 (。) があれば不可。
	五		(ウ)	( ) はなくても可。
	六		ア	
	七		ウ	
八		生産	漢字でないものは不可。	
九		イ		
5		(例は省略)	以下の条件をすべて満たして正答とする。 ①100字以上150字以下であること。 ②2段落構成とし、前段に「感じたこと」について書かれ、後段に「自分の考え」が書かれてあること。 ③誤字・脱字・かな書き・句読点の有無などについては、文意が通る程度であれば許容する。	

学習状況調査 中学校第2学年 社会 採点基準

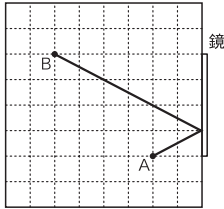
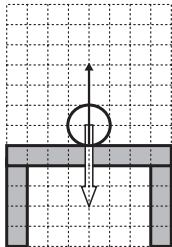
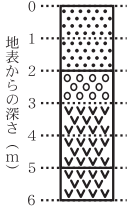
問題番号		正 答 ( 例 )	採 点 上 の 注 意															
1	(1)	ア																
	(2)	南極 大陸	ひらがな記述や誤字があっても「南極」と書こうとしている意図が認められれば正答とする。															
	(3)	① エ ② 24日 午後4(四)時	24日16(十六)時でも正答とする。 日・時の両方ができていない場合、「午後」が書かれていない場合(16時を除く)、は不可。															
2	(1)	ウ																
	(2)	イ																
3	(1)	イ																
	(2)	選んだ発電  (解答例)	選んだ発電は、採点対象外。発電方法のいずれかを○で囲み、その発電方法の長所を記述し、内容があていれば解答例と異なっても正答とする。短所についても同様。															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>水力発電</th> <th>風力発電</th> <th>火力発電</th> <th>原子力発電</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長所</td> <td>温室効果ガスを排出しない。発電する時の燃料を輸入する必要がない。など</td> <td>温室効果ガスを排出しない。燃料が不要である。など</td> <td>発電量の調節がしやすい。建設費が他に比べて安い。など</td> <td>温室効果ガスを排出しない。燃料を繰り返し使用できる。など</td> </tr> <tr> <td>短所</td> <td>水の量によって、発電量が制限される。建設費が他に比べて高い。など</td> <td>自然条件によって、安定した電力を得にくい。音がうるさい。など</td> <td>温室効果ガスを発生させる。燃料のほとんどを輸入に頼っている。など</td> <td>放射線の厳重な管理が必要である。核燃料廃棄物の最終処分地が決定していない。など</td> </tr> </tbody> </table>		水力発電	風力発電	火力発電	原子力発電	長所	温室効果ガスを排出しない。発電する時の燃料を輸入する必要がない。など	温室効果ガスを排出しない。燃料が不要である。など	発電量の調節がしやすい。建設費が他に比べて安い。など	温室効果ガスを排出しない。燃料を繰り返し使用できる。など	短所	水の量によって、発電量が制限される。建設費が他に比べて高い。など	自然条件によって、安定した電力を得にくい。音がうるさい。など	温室効果ガスを発生させる。燃料のほとんどを輸入に頼っている。など	放射線の厳重な管理が必要である。核燃料廃棄物の最終処分地が決定していない。など	
		水力発電	風力発電	火力発電	原子力発電													
長所	温室効果ガスを排出しない。発電する時の燃料を輸入する必要がない。など	温室効果ガスを排出しない。燃料が不要である。など	発電量の調節がしやすい。建設費が他に比べて安い。など	温室効果ガスを排出しない。燃料を繰り返し使用できる。など														
短所	水の量によって、発電量が制限される。建設費が他に比べて高い。など	自然条件によって、安定した電力を得にくい。音がうるさい。など	温室効果ガスを発生させる。燃料のほとんどを輸入に頼っている。など	放射線の厳重な管理が必要である。核燃料廃棄物の最終処分地が決定していない。など														
(3)	B	Bや「B」でも正答とする。																
4	(1)	約 1.5 km	1500は不可。															
	(2)	エ																
5	(1)	イ																
	(2)	エ																
6	(1)	エ																
	(2)	万葉集	ひらがな記述や誤字があっても「万葉集」と書こうとしている意図が認められれば正答とする。															
	(3)	浄土信仰	ひらがな記述や誤字があっても「浄土信仰」と書こうとしている意図が認められれば正答とする。															
	(4)	記号 ア 時代名 室町 時代	・記号と時代名両方できて正答とする。 ・ひらがな記述や誤字があっても「室町」と書こうとしている意図が認められれば正答とする。															
7	(1)	ア																
	(2)	ウ																
	(3)	イ																
	(4)	娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てたから。	同義であれば正答とする。															
8	(1)	ア																
	(2)	エ																
	(3)	実力のある者が、力をのばして上の身分の者に打ちかつこと。	「実力」「身分」の両方を使用し、同義であれば正答とする。															
	(4)	フランシスコ・ザビエル	「ザビエル」だけでも正答とする。誤字があっても、「フランシスコ・ザビエル」と書こうとしている意図が認められれば正答とする。															
	(5)	イ																
9	(1)	エ																
	(2)	① 悪化した(苦しかった) ② ア	同義であれば正答とする。															

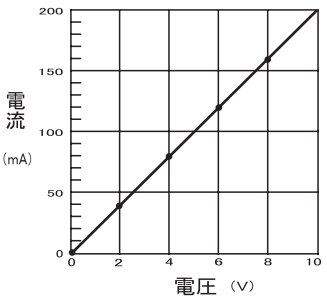
学習状況調査 中学校第2学年 数学 採点基準

問題番号	正 答 ( 例 )	採 点 上 の 注 意
1	-0.5	
2	(1) 8	
	(2) $-\frac{1}{12}$	
3	(1) $a - 4$	$1a - 4$ は正答としない。
	(2) -5	
	(3) $x = -\frac{2}{3}y + 2$ , $x = \frac{-2y + 6}{3}$	項の順番は逆でもよい。
4	(1) $x = -2$	
	(2) $x = -2$ , $y = 1$	$x$ 、 $y$ の両方ができて正答とする。
5	縦に並んだ数のうち、まん中の数を $a$ とすると、 縦に並んだ3つの数は $a - 7$ 、 $a$ 、 $a + 7$ と表される。 縦に並んだ3つの数の和は、 $(a - 7) + a + (a + 7) = 3a$ $a$ は整数だから、 $3a$ は3の倍数である。	「縦に並んだ3つの数は $a - 7$ 、 $a$ 、 $a + 7$ と表される。」、「 $a$ は整数だから、」がなくても正答とする。
6	(1) $5x - 25 = 4x + 10$	
	(2) 生徒の人数を表している。	
7	(1) 12個	
	(2) 	$(a - 1)$ 個のまとまりを表していれば正答とする。
8	ウ	
9	(1) A (4, 2)、 B (-6, 0)	A、Bの両方ができて正答とする。
	(2) $y = \frac{8}{x}$	$xy = 8$ も正答とする。
10	エ	
11	(1) 250m	
	(2) ア	
12	ウ	

問題番号	正 答 ( 例 )	採 点 上 の 注 意
13	点A、Bを中心として等しい半径の円 点A、Bから半径が等しい円 点A、Bから半径が同じ円	点A、Bから円をかこうとしていることと半径が等しいことを記述しようとしていれば正答とする。
14	辺DG (GD)、辺GF (FG)、辺AC (CA)、 辺AD (DA)、辺CG (GC) のうち2つ書いていけばよい。	2つできて正答とする。
15		
16	ア 理由 〈式で説明している場合〉 ・円柱Aの半径を $r \text{ cm}$ 、高さを $h \text{ cm}$ とすると Aの体積は $\pi r^2 h \text{ cm}^3$ 、 Bの体積は $\frac{2}{3} \pi r^2 h \text{ cm}^3$ となる。 よって、Aの体積が大きい。 ・底面積を $S \text{ cm}^2$ 、円柱Aの高さを $h \text{ cm}$ とすると Aの体積は $S h \text{ cm}^3$ 、 Bの体積は $\frac{2}{3} S h \text{ cm}^3$ となる。 よって、Aの体積が大きい。 〈言葉で説明している場合〉 ・Aの高さを2倍にした円柱を考える。Aはその円柱の体積の $\frac{1}{2}$ 、Bはその円柱の体積の $\frac{1}{3}$ なのでAの体積が大きい。	・ア以外のものは理由の如何に関わらず誤答とする。 ・理由のないものは正答としない。
17	$48 \pi \text{ cm}^2$	

学習状況調査 中学校第2学年 理科 採点基準

問題番号	正 答 ( 例 )	採 点 上 の 注 意
1	(1) エ	記号と2つの性質がすべてできていれば正答とする。
	(2) 記号：イ 性質：水に溶けやすい ：空気よりも軽い	
	(3) ① 酸 ② アルカリ	両方できて正答とする。
2	(1) ア → エ → イ → ウ	全部できて正答とする。
	(2) ア	
	(3) 蒸留	
3	(1) ① 胚珠 ② 種子	両方できて正答とする。
	(2) 子房	
	(3) ア 花粉 イ 柱頭	両方できて正答とする。
4	(1) ウ	
	(2) イ	
	(3) ウ → ア → エ → イ	全部できて正答とする。
5	(1) 	BからAに向かうように矢印を付けていても可とする。
	(2) ウ	
	(3) ア	
6	(1) 	矢印は、大きさ、向き、作用点の3要素がすべて適切に表されていれば正答とする。
	(2) ① イ ② 1000 (Pa)	
7	(1) 	柱状図は、問題に示されている図を使い、地層の順序が分かるように書いていれば正答とする。
	(2) ウ	
	(3) 地層の中に、火山灰が固まってできた凝灰岩があるから	同意文は可とする。
8	(1) ウ	
	(2) ウ	
	(3) 記号：エ 理由：初期微動継続時間の短い方が、震央までの距離が短いから	記号、理由の両方ができて正答とする。理由については、同意文は可とする。

問題番号	正 答 ( 例 )	採 点 上 の 注 意	
9	(1)	ウ	
	(2)		<p>グラフは、表に示されている測定値がすべてプロットされていて、0～10Vの範囲で直線で書いていけば正答とする。</p>
	(3)	① 8 (V) ② 25 ( $\Omega$ )	
10	(1)	ア	
	(2)	ア	
11	(1)	エ	
	(2)	ア	
	(3)	ウ	
12	(1)	感覚神経	
	(2)	イ	
	(3)	ウ	

学習状況調査 中学校第2学年 英語 採点基準

問題番号	正 答 ( 例 )	採 点 上 の 注 意	
1	(1)	イ	
	(2)	ウ	
	(3)	ウ	
2	(1)	ア	
	(2)	イ	
	(3)	エ	
	(4)	イ	
3		エ	
4	(1)	watching	・つづり字の誤りは誤答とする。
	(2)	plays	
	(3)	are	
	(4)	did	
5	(1)	ア	
	(2)	ウ	
	(3)	エ	
6	(1)	ウ	
	(2)	イ	
7	(1)	What were you doing then ?	・完全解答のみ正答とする。
	(2)	Let's play soccer in the park .	
	(3)	Open the window , please .	
8	(1)	① エ	
		② ア	
	(2)	( 1 ) → ( 3 ) → ( 5 ) → ( 4 ) → ( 2 )	・完全解答のみ正答とする。
9	(1)	(How) (many) CDs (do) (you) (have) ?	・完全解答のみ正答とする。
	(2)	(What) (do) (you) (do) on Sundays ?	
	(3)	(Where) (did) (she) (go) last Friday ?	
10	(例) He came to Japan last month.  He likes baseball. [His favorite sport is baseball.]  He has a [one] (younger) sister.  He went to [visited] Kyoto last week.  He studies Japanese. [He is studying Japanese.]	○3文全部できて正答とする。 ・主語が Mr White は正答とする。 ・つづり字、符号、大文字、小文字などの表記上の誤りは、1か所まで認める。 ・時制の間違い、三単現の間違いは、誤答とする。	